

慶雲寺報

NEWS

* コロナウイルス関係

先月末より、大きく報道されております。各自、予防自衛を図りながら、パニックに陥ることなく、冷静に対処いただければと存じます。

マスクや消毒薬も品薄状態であり、慶雲寺では来山する方々に対し、特段の準備は出来ておりません。通常通りの対応を致しております。

宗内では、住職が庶務主事として参加予定であった3月の事務担当者会議、および、5月末に予定されていた梅花流の全国大会等、全国規模の会合が中止となっております。

* 年始法要が営まれました

三ケ日は、お檀家各家の家内安全・心願成就を祈念し御札祈禱を勤め、翌四日にお年始回りに伺いました。

1月16日には、毎年恒例であるご本尊様への年賀参り・御札納めの法要を勤めました。週半ばの開催となりましたが、午前中3回の法要には、年頭の願いを胸に、多くの方々に御参詣いただきました。

また、十二支始まりの本年から、お参りのおしるしを焼印付の絵馬としております。



お彼岸のおはなし

暑さ寒さも彼岸まで…3月の春分/9月の秋分の日を中心とした1週間、〈お彼岸〉が巡ってきます。

慶雲寺でもこの期間は、お墓参りに来る方で賑わいます。ご家族揃ってお花を携え、お孫さんらしき方が、外香炉でお線香を供え、水場脇の鐘を鳴らしている姿は、ほほえましい光景です。



ご存じの通り、春分/秋分の両日は、昼と夜の時間がちょうど半分になる日であります。そこに、

《中道(ちゆうどう)》という教えを重ね、両極端に偏らないことを志す期間ともいえます。

また《彼岸》は彼の岸、すなわち悟りの世界・仏の境地という意味があります。そこに至ろうと努力するのがこの1週間の過ごし方です。

心掛けるべき6つの目標をご紹介します。

- 布施(ふせ)** …見返りを求めず善行を施す
- 持戒(じがい)** …戒めを守り我が身を顧みる
- 忍辱(にんにく)** …あるべきを見つめ耐え忍ぶ
- 精進(しょうじん)** …少しずつでも努力を重ねる
- 禅定(ぜんじょう)** …心静かに自分を見つめる
- 智慧(ちえ)** …物事の道理を正しく見つめる

ご先祖さまへのお参りを通じて、及ばずながら仏さまに近づけるよう、春のお彼岸を迎えましょう。

◎伝道掲示板から

数年前、県内曹洞宗青年会の会長を務めた時のことです。「今後、副住職から住職となって行くにあたり、声であり、居ずまいであり、知識であり、

誰でも
自分の
一番
強いものを
持っている

僧侶としてこれだけは負けない…この部分を磨いていこう…といった自分の《ウリ》を、1つでも作り上げていくことが大切だね。」と、後輩たちに伝えたことが思い出されます。

全てに通じ、何事にも秀でている…そんな

何かしら得意なこと、キラリと輝く才能や強みを、誰しも1つは持っているはず。勉強やスポーツ、技術や趣味、明るい性格や緻密に積み上げていく真面目さも、強みのひとつになるでしょう。決してそれらの才能をひけらかすことを勧めるわけではありません。内に秘めた自信(裏付け)として、自らを作り上げていく…そのことは、魅力ある生き方につながっていくことと思います。一人ひとりの強みが折り重なれば、大きな力になるでしょう。謙遜することなく、ご自身の強みを磨き上げてください。

▼令和元年度護持会決算

別紙決算書の通り、1月25日開催の役員会にて承認されました。ご報告申し上げます。新年度会費につきましても、3月末日までに納入をお願いいたします。